

◆事業方針（計画等における位置づけ）

市民ボランティアの活用を図り、八王子市立小・中学校の教育活動を支援する。地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子供の成長を支える活動を通し、地域コミュニティの活性化を推進する。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）

市内すべての小中学校108校に設置された教育支援人材バンク学校事務局を地域学校協働本部として発展させ、地域学校協働活動の充実に努めている。また、地域学校協働活動推進員（学校コーディネーター）が学校運営協議会と連携し、地域に人脈を広げつつ幅広い分野から教育支援ボランティアを集め、地域学校協働の推進に努力をしている。

◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

教育支援人材バンクホームページに教育支援の登録状況や、学校が必要としているボランティアの活動を紹介し、教育支援ボランティアへの登録を呼びかけている。ボランティア研修会の案内をホームページに載せ、人材バンクに登録されている方の研修を呼びかけている。

学校、及び学校コーディネーターに都のコーディネーター研修会や教育フォーラムの案内及び『とうきょうの地域教育』を配布している。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

今年度は3回のコーディネーター研修と2回のボランティア研修を行った。約200名の参加であった。本年度の内容は以下の通り。

第1回 コーディネーターの役割と業務（コーディネーター研修）

第2回 これからのボランティア活動について（ボランティア研修）

第3回 教育支援プログラムの紹介（コーディネーター研修）

一般社団法人 教育コミュニケーション協会 「キッズ作文教室」

東京都赤十字血液センター「助け合う社会を支えるひとりになる～血液事業から考える私たちの社会～」

日本証券業協会「チャレンジ！お菓子の株式会社」

株式会社LIXIL「ひとりにいい、みんなにいい ～ユニバーサルデザイン～」

東京税関「公務員の仕事と社会との関係」

森永乳業株式会社「パッケージから牛乳のひみつを探そう！」

第4回 「地域とともにある学校づくり」について ～学校コーディネーターの実践を通して～（ボランティア研修）

第5回 子供の特性を知ろう 「障がいの受容について」（コーディネーター研修）



◆成果

地域学校協働活動推進員としてのコーディネーターの育成をめざし、研修を充実させることができた。特に「地域学校協働活動」についてと「地域学校協働活動推進員としてのあり方」について、意識を高めることができた。

学校コーディネーターの実践事例の発表は参加者の今後の活動に対して、非常に参考になった。

◆課題・展望

本市は広いので研修に集まることが難しい。今後、より多くのコーディネーターやボランティアが参加できるよう、地域別に研修会を開催できるよう考えていきたい。